

事業概要	<ul style="list-style-type: none">■ 板金工作物製造、金属製品加工 建設機械部品・船舶用、エンジン部品・産業用ロボット部品 航空機エンジン部品・冷熱機械部品■ 再生可能エネルギー発電事業 太陽光発電所・風力発電所■ ホテル事業■ リユース事業■ 畜産事業
部署	サステナビリティ推進部 再エネ課
所在地	〒675-0111 兵庫県加古川市平岡町二俣249-1
連絡先	(電話番号)079-436-2111 (E-mail)r.fujii@futagawa.co.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	再生可能エネルギーの地産地消の観点から、地域の活性化を図り、地域の企業や組合といった様々な事業体から個人まで強くつながることで、お互い支えあう持続可能かつ誰一人として取り残さない、住み続ける地球環境にやさしいまちづくりや社会の実現を目指す。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野 観光ビジネス／脱炭素／その他(リユース)

①ため池ソーラー発電事業
兵庫県と佐賀県に合計15箇所保有



ため池を管理している地方自治体へ当社から賃料を支払い、ため池の水面を借りるというビジネスモデル。



【当社のメリット】

・発電事業を行うことで、水面の冷却効果により発電効率がアップすること。

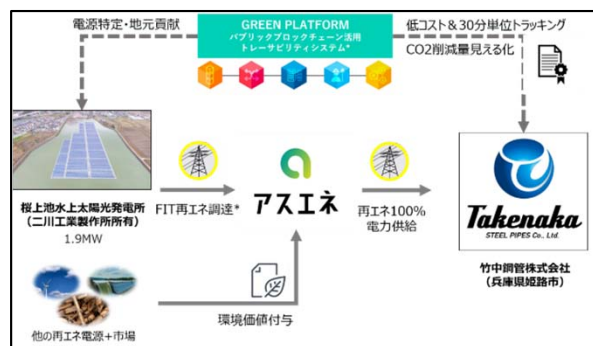
【地方自治体のメリット】

- ・パネル設置により水面の日光が適度に遮られ、水質に悪影響を及ぼす水草の発生が抑制されることにより、水質改善効果が期待できる。
- ・賃料収入が得られること。⇒賃料収入を財源として、池の堤体や水路保全に活用することが可能。
- ・地上設置と比較して、森林伐採が不要。この事業を通して、本来は価値を生み出さない池の水面に、「発電事業」と「賃料収入」という付加価値が生まれた。

このように双方がwin-winの関係になり、循環型社会形成の一助となった。

ローカルSDGsの実現
に貢献できるソリュー
ション

②自社保有の発電所の電力を自社の製造サプライヤー企業へ提供



この取り組みを当社だけで完結させるのではなく、次は当社のサプライヤー企業へも広げていく活動も展開中。サプライヤー企業約100社のうち、20社ほどに提案したところ、今年6月に第一号となる竹中鋼管(株)へ電力提供を開始。自社で再エネ発電所を保有していない、あるいは設置することができないサプライヤー企業へは、当社所有の再エネ発電所から電力を提供。

兵庫県内に所在するサプライヤー企業へは、エネルギーの地産地消の観点から、同じ県内発電所から電力提供を行っている。

当社は、2030年までにサプライチェーン全体で「再エネ100%のクリーンエネルギーでのモノづくり」を目指す。また、企業以外にも複数の自治体から再エネ電力提供のティアップ依頼もあり。

【サプライヤー企業への啓蒙活動】

気候変動に関して世界レベルで脱炭素社会に向けて急速に舵が切られていることや、RE100企業であるAppleやSONYがサプライチェーンにもカーボンニュートラルを要求する動きを始めたことなど世界的潮流が他人事ではないこと、今のうちから先行して取り組まなければ、将来的に取り残されてしまうかもしれないということも合わせて啓蒙活動を行いながらサプライチェーン全体の脱炭素化に取り組む。

現段階では、竹中鋼管(株)1社のみだが、すでに鋼材系の企業と建設関係の企業2社への電力提供も決定。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

③北海道小樽市でのホテル事業

当社のホテルは、北海道初のコンテナタイプのホテルで、遮音性があるコンテナ式の利点を利用し、無駄を省いた全館リーズナブルな価格を提供。

北海道の旅の拠点として旅行需要の喚起を目指す。

当ホテルでは、お客様には小樽ならではの食事を楽しんで頂くために、お食事の提供は行っていない。その代わりに、食事等は周辺の飲食店を利用する形で手宮地区を盛り上げたいという思いから、近隣の店舗と提携し、特典クーポンを用意。

小樽はかつて鉄道の起点として栄えた街で、雇用や人の流れを創出し、さらなる賑わいづくりの一助となり、地域活性化を目指す。

④買取専門店の運営

家庭で不要になった、衣服、アクセサリ、家電、スマホ等の買取事業

高齢化人口増加に伴い終活による遺品整理の需要が多くなった昨今、家庭のものや遺品の処分に困っている高齢者の方は非常に増加している。当店では、そういった悩みを抱えた方の課題解決を日々行っている。

具体的には自宅にある雑貨や大型の家電など幅広いものを買取査定し、販売業者を介して間接的には国内外に販売。お客様の中にはまだまだ、身の回りのものに大した価値が付かないと考えている方がおられ、ごみとして廃棄してしまう前に遺品整理のお手伝いをサポートする過程で、価値あるものを見出し、少しでもお値段付けて買い取りをしている。

これにより、本来捨てられて価値がないものを再販するリユース事業を通じて循環型社会の形成に寄与していると考えています。また、買取査定をする為には、商材の知識や目利きができないといけないのはもちろん、多様な商品を販売できるだけの販売経路を構築していないといけないため当社は海外輸出ができる企業様とも取引があり、様々なニーズに対応できる技術とネットワークを構築している。

URL

https://www.futagawa.co.jp/sdgs/renewable_energy.html

上記ソリューションを提供できる地域について

全国

自者の特徴

【会社全体について】

- 主業となる製造部門については、油圧ショベル等の建設機械部品の製造を中心に事業を展開。キャタピラージャパンやコベルコ建機株式会社、川崎重工業株式会社のサプライヤー企業として、安定した受注を確保。国内にメイン工場4カ所、サブ工場3カ所、海外にも製造拠点がある。本年度で創業78年を迎えた。
- 主業の製造事業以外にも再生可能エネルギー発電事業・ホテル事業・リユース事業・畜産事業など、新規事業の創出も積極的に行っている。

弊社の事業内容はこちら⇒ <https://www.futagawa.co.jp/business.html>

【再生可能エネルギー発電事業に関して】

- 兵庫県内及び九州エリアを中心に国内40カ所の太陽光発電所及び風力発電所を保有(2021年9月現在)。
 - 総発電規模: 44MW(44,000kw)
 - 年間総発電量: 約53,000,000kwh(約15,000世帯の年間使用電力に相当)
 - 年間CO₂削減量: 約28,000トン(東京ドーム約800個分相当)
- 2020年12月、国内7工場の使用電力約6GWh、金額に換算すると年間で約1億円分の電気を自社所有のため池ソーラーから供給することで100%再生可能エネルギーへ転換し、約2,900トンのCO₂を削減。小売電気事業者であるアスエネ株式会社のブロックチェーン技術を活用することで、エネルギーの地産地消を証明しながら、CO₂排出をゼロにして、尚且つコスト削減も実現。新聞やWEBメディアにも多数取り上げられ、自治体や環境団体等から講演依頼も多数。



自者の特徴

【ホテル事業に関して】

北海道小樽市で運営しているホテルの使用電力を100%再エネ由来の電気を使用。
完全素泊まりタイプのホテルで、おサイフにも環境にもやさしいホテルづくりを目指している。



SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

- 社員全員にSDGsの取り組みに興味を持たせる方法(いかに興味を持たせて、身近に感じてもらうか)